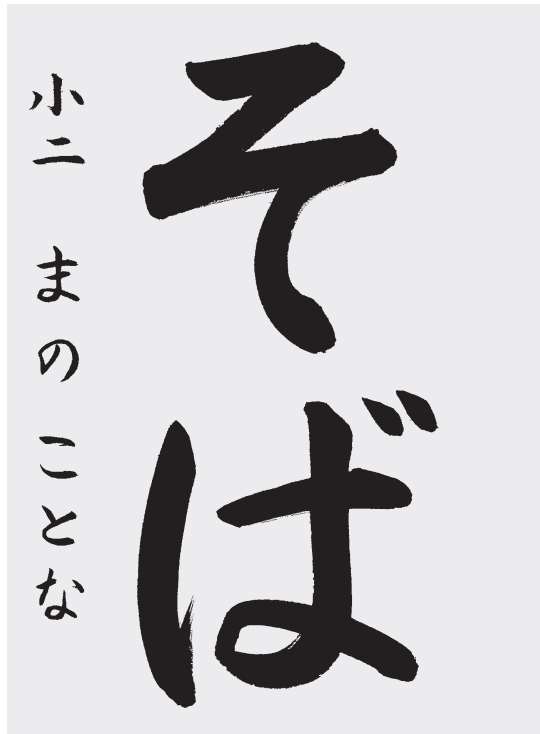


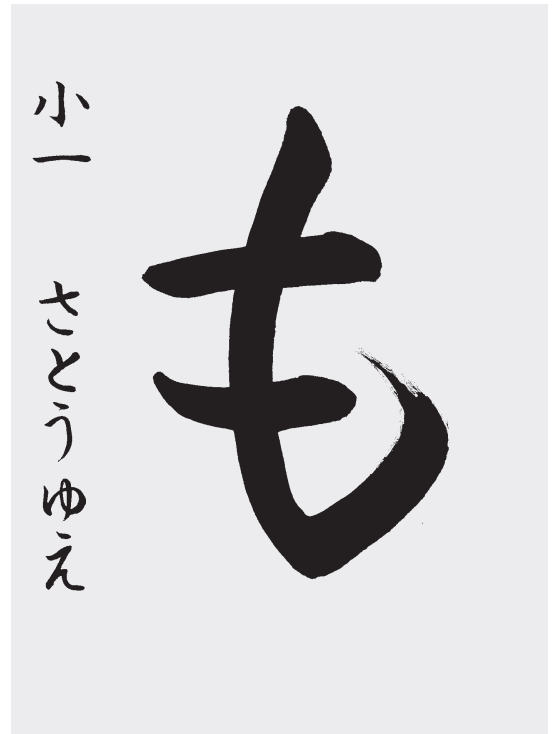
〔12月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

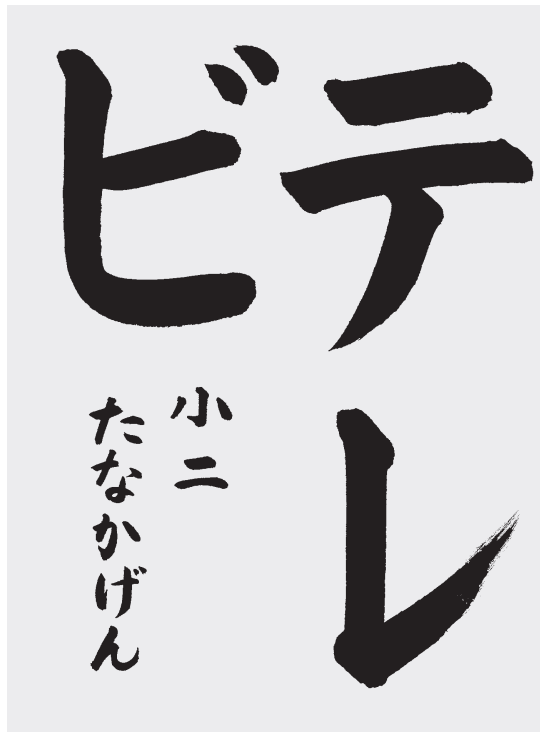


大平 邑峰 先生

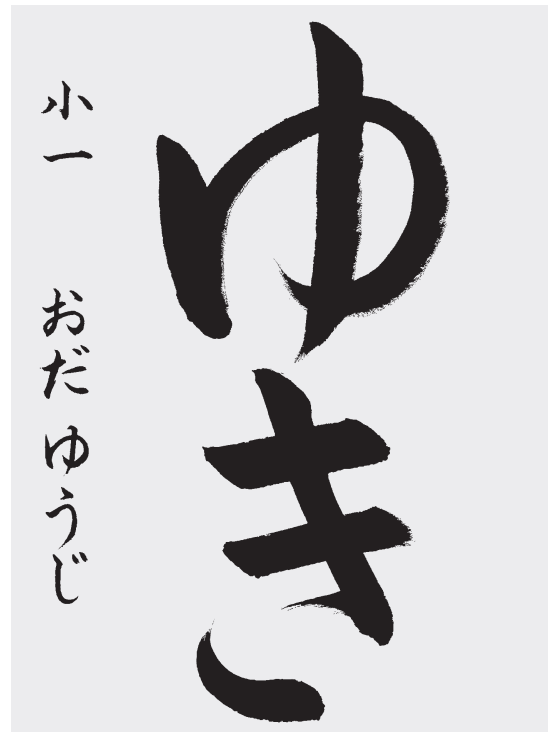
幼・小学1年参考手本



崎井 恵風 先生



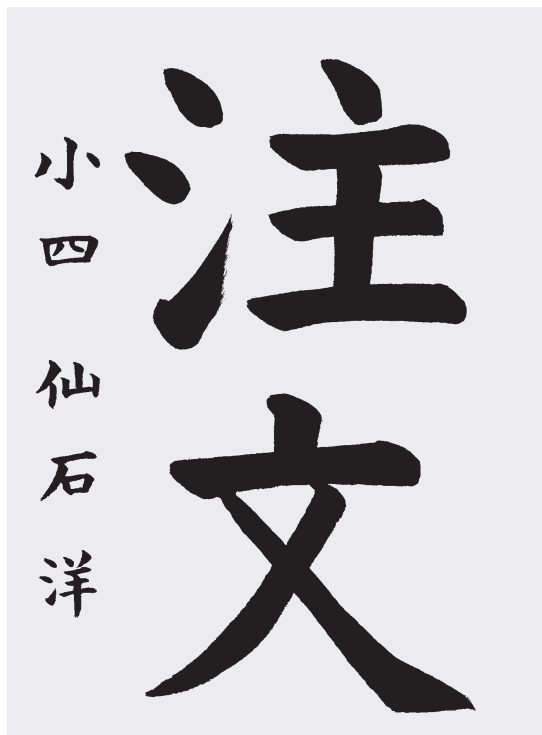
半田 藤扇 先生



小林 琴水 先生

〔12月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



北村白琉先生

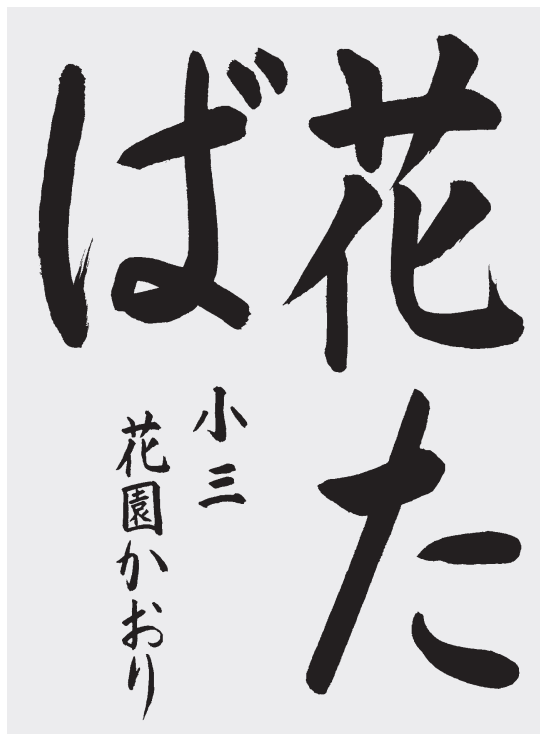
小学3年参考手本



小浜大明先生



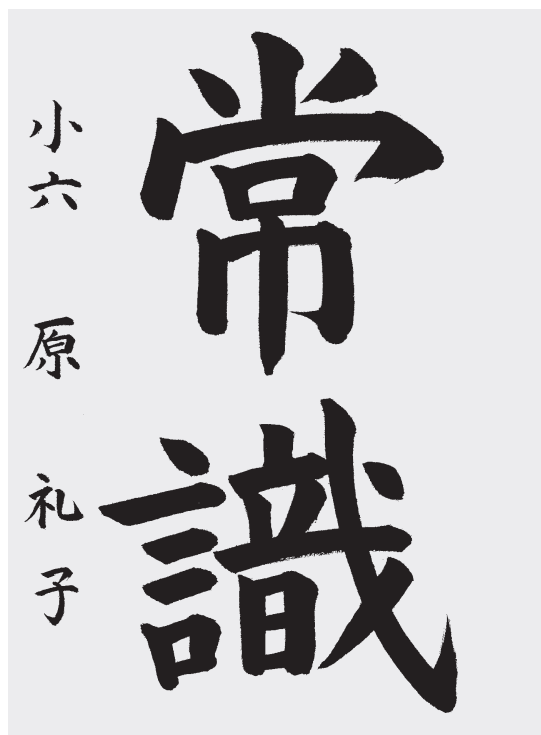
倉林紅瑤先生



種谷萬城先生

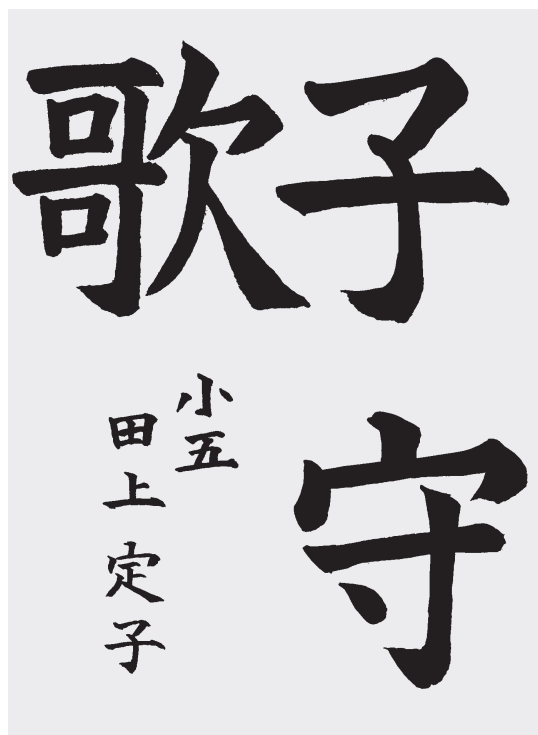
〔12月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



佐藤菜扇先生

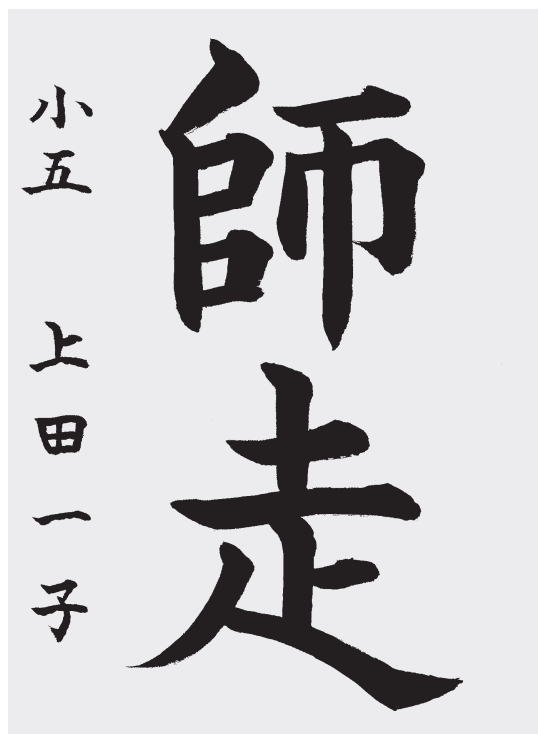
小学5年参考手本



田守光昭先生



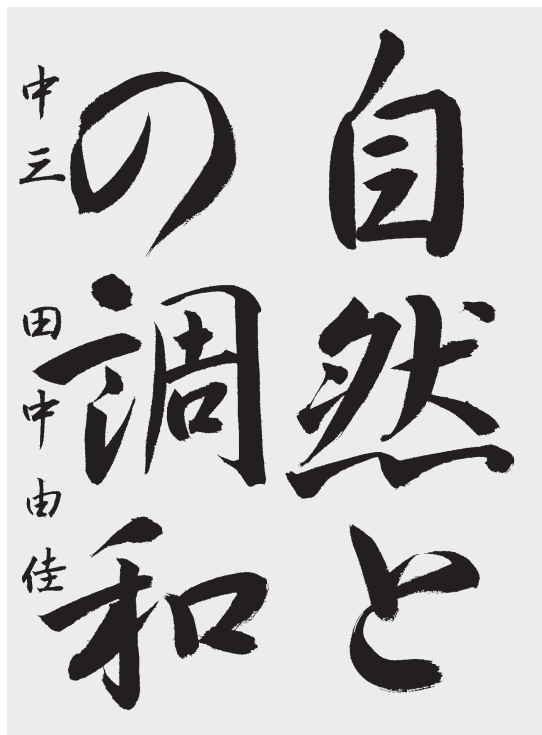
名越蒼竹先生



後藤大峰先生

〔12月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

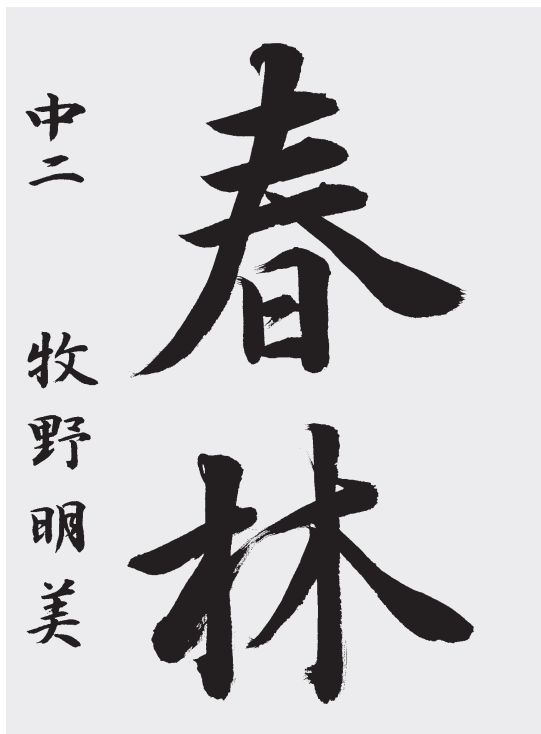
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



広瀬舟雲先生



千葉蒼玄先生



小竹石雲先生

中国の歴史上の人物で一番書が上手といわれている人が王羲之です。筆脈に注目して下さい。

※この課題は行書で書くこと。



春林（集字・拡大）

（中国・東晋時代）
集字聖教序
王羲之

発展〔中学生〕

●有名な古典の名跡に挑戦してみよう

毛筆参考手本解説(1)

1年

軽くとめる
も
毛毛もも
も(ヨ)も(明)
も(教)

つなげるきもちで
ゆき
ゆき(ヨ)ゆき(明)ゆき(教)

2年

そば
そば(ヨ)そば(明)そば(教)

テレビ(ヨ)テレビ(明)テレビ(教)
テレ
レ
ヒ
天(天)テ
礼(礼)レ
地(地)ヒ

3年

中心
冬山
たてが出る

冬山(ヨ)冬山(明)冬山(教)

花
花(ヨ)花(明)花(教)

花たば(ヨ)花たば(明)花たば(教)

4年

中心
注文
その方向に気をつける

注文(ヨ)注文明(明)注文(教)

中心
デザイン
デザイン(明)

デザイン(教)

5年

歌子
守

子守歌(ヨ)子守歌(明)子守歌(教)

師走
師走(ヨ)師走(明)師走(教)

師走(ヨ)師走(明)師走(教)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。
ゴシック体(ヨ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

※手本は許容で書いています。

中心
常識
言は幅を狭くして右端をそろえる

〈筆順〉

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

言註 諸識 識識

常識(ゴ) 常識(明) 常識(教)

そりは中心から
右下へ長くのばす

館武 道
等間隔

等間隔

あける

(しんにょう)

〈筆順〉

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

武 道 館

武 道 館

武道館(ゴ) 武道館(明) 武道館(教)

理想 理想
理想実現(明) 理想実現(教)

〈筆順〉

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

理 理 理 理 理 理 理 理 理 理

理想 理想 理想 理想 理想 理想 理想 理想 理想 理想

やさしい行書

自然と
の調和

点画の省略

言(ごんべん)の
行書の書きわけ

自然との調和
言(ごんべん)の
行書の書きわけ

自然との調和(H)

発展

集字聖教序

春林

春
つながる気持ち
筆の入れ方に注意

林

点画のつながりを意識しながら、和らぎのある運筆で書きましょう。

ひらがなの字源 (397)

「国語科書写の理論と実践」
全国大学書写書道教育学会編より転載

の	と	字源 字形
乃 乃 乃 乃	止 止 止 止	

※字源については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には字源に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

〔12月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学2年

幼・小学1年

硬筆参考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

支 部 名				
	囧	た	か	ら
段・級	を	か	ら	さ
	交	が	し	の
学 年	かん	た		
名 前	した。			
	山			
	地			
	一			
	花			

支 部 名				
	つ	大		
だん・きゅう	け	き		
	ま	な		
がくねん	し	木		
なまえ	た	を		
	。	み		

ちゅうしん 中心

まっすぐに 出る

〈ひっじゅん〉
□□囧囧囧囧
囧(ゴ) 囧(明) 囧(教)

交(ゴ) 交(明) 交(教)

ちゅうしん 中心

漢字の字形を正しく書きましよう。

あける

〈ひっじゅん〉
一ナナ打地地
地(ゴ) 地(明) 地(教)

ちゅうしん 中心

とめる 木(ゴ) 木(明) 木(教)

やや右上がり

ちゅうしん 中心

むすび

な(ゴ) な(明) な(教)

ちゅうしん 中心

左右のはらいを、ていねいにかきましよう。

いったんとめてから のびやかにほうう 左右のはらう方向に ちゅうい

つづけるきもちで

大(教) 大(明) 大(ゴ)

〔12月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名			
段・級			
学年	四		
名前	長谷川結人		
	る	ん	会
	か	な	話
	を	気	文
	考	持	は
	え	ち	だ
	て	で	れ
	読	話	が
	も	し	ど
	う	て	
	。	い	

支部名			
段・級			
学年	三		
名前	黒石七海		
	白	坂	
	い	道	
	し	は	
	も	一	
	だ	面	
	っ	の	
	た	真	
	。	っ	

読
「へん」小、「つくり」大
士…下みじかい
少し出る
口〈筆順〉
言言言言言言
読(三) 読(教)
読(三) 読(明)

考
「を長く書く」
一画で書く
考(三) 考(明) 考(教)
考(三) 考(明) 考(教)

持
三画目の横画
「はね」
持(三) 持(明) 持(教)
持(三) 持(明) 持(教)

「へん」と「つくり」の組み合わせを考えて書きましよう。
「ま(てへん)の筆順」

面
中心
少し出る
分間(画と画の間)を
とこのえて書きましよう。
一ノ一而而面
面(三) 面(明) 面(教)

道
中心
首は中心より右側に
かるく止める
道(三) 道(明)
道(三) 道(明)

坂
止めてから払う
払いの方向に注意
坂(三) 坂(明)
坂(三) 坂(明)

かん字の組み立てをよくりかいして、字形を正しく書きましよう。

〔12月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名	的	能	
段・級	な	楽	「
学年	喜	で	き
名前	劇	演	よ
	で	じ	う
	ある	ら	げ
	。	れ	ん
		る	は
		古	、
		典	
六			
橋本明加			

支部名	神	配	
段・級	経	を	シ
学年	を	感	カ
名前	集	じ	は
	中	、	、
	さ	大	何
	せ	き	者
	た	な	か
	。	角	の
		に	気
五			
松村想			

ちゅうしん
中心

劇

等間隔

〔筆順に注意〕
劇(三) 劇(明) 劇(教)

喜 能

〔筆順〕
十 十 吉 吉 喜 喜

〔筆順〕
△ 育 育 育 能 能

画数の多い字形を整えて書きましよう。

約45度で平行に
等間隔に
〔許容〕
止め 方向・筆順 接する 止め

経
とめ 経(三) 経(明) 経(教)

感
とめる 感(三) 感(明) 感(教)

かん字の組み立てを理解して字形を整えましよう。

〔12月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

支 部 名	より、自転車がいいかも。 らしいよ。バスに乗って散策する 飛鳥は、のどかがいいところ
段・級	
学 年	
名 前	
重田新太郎	

支 部 名	より、自転車がいいかも。 らしいよ。バスに乗って散策する 飛鳥は、のどかがいいところ
段・級	
学 年	
名 前	
重田新太郎	

(行) 自転車

(楷) 自転車

(行) 飛鳥

(楷) 飛鳥

やさしい行書

※楷書と行書を

見比べてみて下さい。

・曲線的

・線から線へ連続

策

乗

飛

特に「飛」「乗」の筆順に注意して書き
ましよう。

策(3) 策(明) 策(教)

乗(3) 乗(明) 乗(教)

飛(3) 飛(明) 飛(教)

飛(3) 飛(明) 飛(教)

これからの作品締切日と課題

令和7年1月号～7年3月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
温故知新	大聖(集字聖教序)	千鳥	賀正	お年玉	学ぶ	みどし	わ	1月6日	1月
ゆきぼたん		富士山頂	計画面	新年	元日	カルタ	へび		
あらしやま (高野切第3種)	樹水 窓の景色	建築 月面着陸	寒風 活性化	立春 雪原	豆まき 外国	ソリ あられ	ほ おに	2月6日	2月
はるのうた (高野切第3種)	春風 持続可能	将来 卒業写真	再利用 伝統	活気 竹馬	文化 うぐいす	山 マリモ	れ なわ		
								3月9日	3月

1月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1	はし	お正月のあさ
	かずかです。	

小2	出が山からのぼる。	お正月、はつ日の
----	-----------	----------

小3	新かん線は時そく	三百キロで走る。
----	----------	----------

小4	面にクリンには、星が一	プラネタリウム
----	-------------	---------

小5	の貿易は、アメリカと	日本は、
	輸入して多くの農産物	アメリ

小6	飛行許可が出た。	空港のコントロール
----	----------	-----------

中学生	「スノーモンスター」とも呼ばれる蔵王の樹氷。その幻想的な景色が冬の連峰に広がります。
-----	--



書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第93回 石碑建立物語2

本学100周年記念碑ができるだけ周囲の風景に「大きさ」も「形」も調和したものにしたいと考えた。そのために事件解決の糸口を探る探偵のごとく、建立予定地の築地本願寺へ出かけては、「九條武子夫人歌碑」と、本学記念碑の設置予定場所をじっくり眺めては、碑形の構想を練ったのであった。「この歌碑よりも大きさは小さく」という条件が同寺から示されたからである。九條武子は、京都・西本願寺の第21代門主明如(大谷光尊)の次女で九條良致の妻。佐佐木信綱門下の歌人として有名で、現在の京都女子大学の前身となる学校の設立や、関東大震災で全壊した築地本願寺の再建にも尽力し、才色兼備なことから「大正三美人」の一人と称されたという。この歌碑裏面の銘文に「篆額・大谷尊由」「鑄金・高村豊周」、「設計・廣川松五郎」と記されていた。尊由は、武子の兄・僧侶・貴族院議員、豊周と松五郎はともに東京美術出身で前者の父は彫刻家高村光雲・兄は詩人の高村光太郎・母校の教授、後者は染色・図案・近代工芸で芸大教授となった人物である。武子・豊周・松五郎の三人はともに短歌の才能にも優れていたという共通点があったことが判った。この碑の表面の尊由の題字の書は篆書ではなく隷書で揮毫されているので篆額ではなく「題額」と記したい。「鑄金」とは金属工芸の一種で鑄造した作品の類のことである。豊周は有名な鑄金作家であるが、この碑を見回してもこのような金属で制作された箇所が見あたらない。最初、武子の短歌を刻んだ黒い石の文字刻のことか、または碑本体の前に2つある工芸的な石の装飾を指しているのか?と思っただが、この碑の建立が昭和九年であり、太平洋戦争を挟むので、時節柄この部分を供出もしくは石製に改められたのか?と思いを廻らした。



▲九條武子夫人歌碑・正面より

何回も「九條武子夫人歌碑」とその周辺を観察しに伺うと、築地本願寺にすでに建てられた近年の石碑に關しては、多かれ少なかれそれぞれ部分的にこの碑の影響を受けていることが判った。本体の淡い灰色系統の石の中に、長方形にカットした黒い石を色紙のごとく嵌め込み、これに文字を刻んだ黒い石が似ているのである。こうすると、碑全体の色彩に変化が出て文字が見やすくなる長所がある。しかし碑のできた頃の頃はいいのだが、よほどうまく黒石を嵌め込まないと、時がたつにつれ、この石と石の間の溝に水と埃が付着して欠損やシミが生じたり、最悪の時は、嵌め込まれた黒石の方が脱落することがあるという点を忘れてはならない。小学生のころ、巨石に銅製の肖像を嵌め込んだ立派な石碑が故郷の城址公園に新しく建立され、当時私はとても気に入っていた。そこで今回の参考に50年を経て見に行った。そうしたら、肖像をはめ込んだ下部からなんと錆を含まず水が垂れ落ち、その汚れが肖像下の石にシミ痕となり、残念な気持ちになった。ゆえにこの方法は避けたいと思った次第である。建立して数年は設置者が誰かしら存在するが、百年たつとすでに皆無というのが現実である。「千年先までそのままの姿を保てる碑」ということを考えているので起こりうる心配のあることはできるだけ避け、長期間の途中でなるべくメンテナンスを必要としないものにすることが肝要と悟ったのであった。(つづく)

今月のホープ



中三 大友麻帆 (土気書道教室)

少々名前が窮屈だったが、弾力の利いた線質の豊かさが群を抜く。ハネや払いの個性も相俟って、堂々の雄大な世界です。



小四 門倉遥奈 (秀水会)

引き締まったすどく強い線が魅力的。起筆から終筆まで一貫して落ち着いた丁寧な動きで、字形も大変美しいです。

文部名	苑書	から	品質が	この	の	牧場の	牛乳は、
段・級		注文	が	向上	し	全国	各地
学年	六	が	きた。				
氏名	吉田 吏来						

小六 吉田 吏来 (苑書会)

正確で整った字形は抜群の美しさです。雄大の中に力強さもあり、堂々の快作です。名前も立派に書けました。

文部名	う	の	石	です。	き	れ	いな	も	よ
しゅか									
だん・きゅう									
がくねん									
なまえ									
い									
わいな									
おと									

小一 祝 直翔 (春華)

文字の形がとても正確です。力強く、のびのびと書き上げました。スケールの大きな、立派な作品です。

幼・1年

わ
やじまあみ

へび
小一みのとしはる

2年

しみど
小二
すどうせき

タカル
小二
いしだかい

3年

学ぶ
小三
上田友子

元日
小三
川口心

4年

お年玉
小四
小山正子

新年
小四
山田友子

5年

賀正
小五
相坂章

計画案
小五
天野史

6年

千鳥
小六
上田友子

富士山
小六
田上真一

中学

大聖
十一
田口良太

温故知新
中三
山口礼子

ぼたん
ゆま
中三
原田花香

編集余録

○秋季昇段級試験の審査が終了しました。今回も大変多くの出品があり、審査員の先生方で皆さんの力作を丁寧審査しました。『合格証』は団体の先生宛に送付いたします。楽しみにしててください。

○月例審査で写真版に掲載したい作品がありました。残念なことに、漢字の書き間違いや、課題違いがありました。作品を提出する際、もう一度自分の作品をよく見直してください。

○今月の中学生の毛筆課題は、東晋・王羲之（303?~361?）の「集字聖教序」です。王羲之は、1500年以上も昔、四世紀の中国に生きた人物です。古来、「書聖」としてたたえられ、楷書・行書・草書の三書体を芸術の域にまで高め、中国だけでなく、日本の書にもとても大きな影響を与え続けてきました。

「集字聖教序」は、唐の時代の僧・懷仁が王羲之の文字を集めて刻した石碑です。「集字聖教序」とも呼ばれ、昔から王羲之の行書を学ぶための手本として用いられていました。

王羲之の書は、他にも「蘭亭序」をはじめ、数多くの尺牘（手紙）などが伝わっています。しかし、王羲之自身が書いた真跡は、一つも現存していません。残されているのは、すべて模写された複製です。

（悠輝）